

令和3年度の事業報告書

NPO法人千葉こども家庭支援センター

1 事業の成果

(1) フリースクール事業（小学2年から中学3年まで延べ日数で1,338名登校）

- 学校の保健室登校や適応指導教室などにも通えない児童生徒に学校の時間帯に安心して過ごせる場所を提供できた。また、不登校の期間によって学習の進度はまちまちであるが、パソコン教材を使って個別に学習指導をすることで、学習が効果的に進められた。
- 令和3年度末には中学3年生が9名在籍していたが、全員が高等学校（内1名は県立高校）に進学した。
- 4人の児童生徒が在籍校に通えるようになった。
- フリースクールに通った児童生徒の延べ日数人数は小学2年生から中学3年生まで1,615名であった。今年度は6月から学校が始まっているので、昨年度より多くの子どもたちが学習に参加できた。

(2) 教員採用選考講座（6名が参加）

- 今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、選考内容も変わり、面接の受け方と模擬授業演習を夏休みに集中して実施した。
- また、今年度はYouTubeを利用して講座を実施し、直接の対面の機会を少なくし、感染予防に努めた。

(3) 相談事業（145件講演後の相談も含む）

ア 相談事業

- 来室での相談やメールでの相談など数多くの相談があった。
- 千葉市在住の保護者の場合は相談量を無料にし、相談しやすい環境整備に努めた。
- 講演会後に希望する参加者の相談を別日に設けた。
- 生浜公民館主催の教育相談の依頼があり、1人当たり2時間半の相談を4回実施した。

イ 講演事業（HSC（Highly Sensitive Child）理解等）

- 千葉市教育センターリレー研修（教員2年目研修）新型コロナウイルス感染防止によりオンラインでの研修となった
- 千葉市生涯学習センター講演会
- 秋田県大潟村での講演会
- 市川市養護教諭会での講演会（オンライン）

(4) 調査研究事業

- 「不登校児童生徒の学習支援とフリースクールとの連携事業」についての調査研究を受託し3月に報告をした。
- インターネットを活用した教材についての調査研究と学校や家庭との連携についての調査研究を行った。
- 年度末には学校と家庭にそれぞれアンケート調査を実施し、今後の研究の参考にすることとした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
フリースクール事業	不登校の小中学生が午前、午後に分かれて学習を行う。心配事などに相談は希望により行う。	月～金	当センター	3人	不登校の小中学生 延べ日数人数 1,338人
教員採用選考講座	教員採用選考のための面接の受け方や模擬授業の進め方についてオンライン講習を行い、実際に面接は演習を行う。	8月1日～8月20日の2日間、また希望により日程を追加する	当センター	2人	教員採用選考受検者6人
相談事業	・子育て相談、不登校の相談、HSC相談 ・HSC講演	4月1日～3月31日不定期（依頼日）	当センター メール 生涯学習センター	2人	相談数延べ145件 YouTubeによる講演配信
調査研究事業	不登校児童生徒にインターネットを活用した学習支援を行い、学習の機会を確保するとともにインターネットを活用した学習支援をする際の留意事項や望ましい学校・保護者との連携の在り方について検証する。	5月1日～3月31日	当センター	2人	フリースクールに通う千葉市内の小中学校に籍を置く不登校児童生徒及び在籍校、家庭

(2) その他の事業（定款に「その他の事業」として定めている場合のみ）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
なし				